

## 学校設置基準についてのQ&A

専門学校、または大学（芸術学部限定）のアニメーター学科には、必要単位などにどのような決まりがあるのか、シロウトが疑問を持つ部分について学校関係者にうかがってみました。

最初からどう考えても無理でしょう、という極端な質問もしています。

Q. 専門学校、大学（芸術学部限定）で、それぞれ最低必要な単位、または時間は決まっていますか？

A. 決まっています。専門学校（専修学校専門課程）の場合、全日制は原則 800 時間以上。大学は最低 124 単位以上。

Q. 大学の芸術学部限定ですが、一般科目と専門科目の割合に決まりはありますか？

A. 基本的にはありません。しかし、実際は一般科目と専門科目をバランスよく配置しなければならないと考えられます。

Q. 専門科目は全部演習でもいいんですか？

A. 難しいと考えられます。大学は学術研究を行う場所であって技能訓練をする場所ではないので、審査が通る可能性は極めて低いと考えられます。

Q. 外部委託教育（制作会社へ出したり）やインターンシップは、どこまで単位として認められるのでしょうか？

A. 文部科学省が認定すれば大学で 60 単位まで、専修学校で 400 時間まで認められるようです。ただし、基本的に学内で教育させる体制を整える必要があるため、はじめから外部委託教育に大きく依存する体制をとることは認められないと思われます。学校の運営が安定してからは、学校の運用しだいで外部委託教育を増やすことはできるようです。

もう少し詳しく知りたい方はPDFファイルをご覧ください。ただしこれらは 2006 年 11 月現在の情報です。法律関連は頻繁に改正があり内容がすぐ古くなるため、あくまで参考程度にとどめてください。

## 大学設置基準

- 大学の設置基準をしばるものは「学校基本法」「大学設置基準」「その他の法令」

### 専任教員

- 教員は1つの大学に限り専任教員となる。

### 専任教員数

- 別表1, 別表2を参照

### 教員の資格

教授： 専攻分野について特に優れた知識と経験を持つと認められる者

助教授： 専攻分野について特に優れた知識と経験を持つと認められる者

講師： 特殊な専攻分野について、大学における教育を担当するにふさわしい教育上の能力を持つと認められる者

助手： 学士の学位を持っている者

### 収容定員

- 教員組織、校地、校舎等の施設、設備その他の教育上の諸条件を総合的に考慮して学部ごとに学則で定める。

### 教育課程

- 各授業科目を必修科目、選択科目及び自由科目に分け、これを各年次に配当して編成する。

## 単位

- 各授業科目の単位数は大学において定める。
- 45時間で1単位が標準。
- ただし、教育効果等を考慮して次の基準で単位認定ができる。
  1. 講義・演習：15時間から30時間の範囲で1単位。
  2. 実験・実習・実技：30時間から45時間までの範囲で1単位。
  3. 芸術の分野における個人指導による実技の授業：大学が定める時間の授業をもつて1単位。
  4. 卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目：必要な学修等を考慮して単位数に換算。

## 1年間の授業期間

- 定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則。

## 各授業科目の授業期間

- 10週又は15週にわたる期間を単位として行う。ただし、教育上特別の必要があると認められる場合は、これらの期間より短い特定の期間において授業を行うことができる。

## 授業を行う学生数

- 授業の方法及び施設、設備その他の教育上の諸条件を考慮して、教育効果を十分にあげられるような適当な人数。

## 授業の方法

- 多様なメディアを高度に利用して、教室等以外の場所で履修させることができる。
- 外国において履修させることができる。
- 授業の一部を、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。

### **履修科目の登録の上限**

- 大学が、学生が1年間又は1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を定める。

### **他大学、短期大学における授業科目の履修**

- 学生が他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で履修したものとみなせる。

### **大学以外の教育施設等における学修**

- 学生が行う短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、授業科目の履修とみなして単位を与えることができる。ただし、他大学や他の短期大学で修得した単位数と合わせて60単位を超えてはいけない。

### **入学前の既修得単位の認定**

- 教育上有益と認めるときは、学生が入学前に大学又は短期大学で修得した単位を、入学した後の当該大学において修得したとみなせる。

### **長期にわたる教育課程の履修**

- 学生が職業を有している等の事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる。

### **卒業の要件**

- 大学に4年以上在学し、124単位以上を修得すること。

## 校舎等施設

- 少なくとも次に掲げる施設を備えなければならない。ただし特別の事情があるときは考慮される。
  1. 学長室、会議室、事務室
  2. 研究室、教室(講義室、演習室、実験・実習室等とする)
  3. 図書館、医務室、学生自習室、学生控室

## 校地の面積

- 収容定員上の学生1人当たり10平方メートルとして算定した面積に附属病院建築面積を加えた面積。

## 校舎の面積

- 1個の学部のみを置く大学は、別表3又は別表4に定める面積以上とし、複数の学部を置く大学は、複数の学部のうち別表3の基準校舎面積が最大である学部についての同表に定める面積に当該学部以外の学部についてのそれぞれ別表4の表に定める面積を合計した面積を加えた面積以上とする。

## 大学設置基準

[http://www.kyoto-u.ac.jp/uni\\_int/kitei/reiki\\_honbun/w0020949001.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/uni_int/kitei/reiki_honbun/w0020949001.html)

より作成

各法は今後変更する可能性があるため、このレポートを参考にする際には十分ご注意ください。また、本レポートは詳細を大きく省いているので、詳細は最新の各法を読む、または関係各省・各自治体に問い合わせてください。この内容によって不利益を被る事があった場合でも、当方は責任を一切負いません。

2006年10月31日 作成

## 専修学校の設置基準

- 専修学校の設置基準をしばるものは「学校教育法」「専修学校設置基準」「その他の法令」
- 専修学校は3種類に分けられる
  1. 高等課程...中学校を卒業した人が入学
  2. 専門課程...高校を卒業した人が入学
  3. 一般課程...誰でも入学

### 授業時数について

- 1年間で800時間以上.

### 生徒数

- 常に40人以上.

### 同時に授業を行う生徒について

- 1つの授業科目で同時に授業を行う生徒数は40人以下. 特別な理由があり, 教育上問題がなければ超えても良い.
- 教育上必要があるなら, 学年学科の異なる生徒を合わせて授業を行える.

### 他の専修学校(高等課程と専門課程に限る)における授業科目の履修

- 他の専修学校の高等課程または専門課程における授業科目の履修を, 必要な授業時数の2分の1を超えない範囲で授業科目の履修とみなすことが可能.

### 専修学校以外の教育施設における学修

- 専修学校の専門課程において、他の大学、短期大学、専門課程に相当する教育を行っていると認められた外国の教育施設、文部科学大臣が別に定める学修を、専門課程の修了に必要な授業時数の2分の1を超えない範囲で履修とみなすことが可能。

### 入学前の授業科目の履修について

- 専修学校の専門課程において、入学する前に行った専修学校の専門課程、他の大学、短期大学、専門課程に相当する教育を行っているとして認められた外国の教育施設、文部科学大臣が別に定める学修を、専門課程の修了に必要な総授業時数の2分の1を超えない範囲で履修と見なす事が可能。

### 授業の方法について

- 多様なメディアを利用して教室以外の場所で履修する事を、修了に必要な総授業時数のうち2分の1以内なら行える。

### 授業時数の単位数への換算について

- 専修学校の専門課程においては、授業時数45時間で1単位を標準とする。ただし、教育効果や授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数に換算することができる。
  1. 講義・演習：15時間から30時間の範囲で1単位
  2. 実験・実習・実技：30時間から45時間の範囲で1単位
  3. 芸術等の分野における個人指導による実技の授業：学修内容を考慮して適切な範囲内で自由に決められる
  4. 卒業研究：必要な学修等を考慮して、単位数に換算

## 教員数

- 教員の数の半数以上は専任の教員でなければならない。また、専任の教員の数は3人以上でなければならない。

課程の区分	学科の属する分野の区分	学科の属する分野ごとの生徒総定員の区分	教員数
高等課程 又は 専門課程	文化・教養関係	80人まで	3
		81～200人	$3 + \frac{\text{生徒総定員} - 80}{40}$
		201～600人	$6 + \frac{\text{生徒総定員} - 200}{50}$
		601人以上	$10 + \frac{\text{生徒総定員} - 400}{60}$
一般課程	文化・教養課程	80人まで	3
		81～200人	$3 + \frac{\text{生徒総定員} - 80}{40}$
		201人以上	$6 + \frac{\text{生徒総定員} - 200}{60}$

備考 この表の算式中、生徒総定員とあるのは、学科の属する分野ごとの生徒総定員をいう。

## 教員の資格

- 専修学校の専門課程の教員
  1. 専修学校の専門課程を修了した者に関しては、専門課程修了後、担当する教育に関する教育、研究、業務に従事し、専門課程と業務に従事した期間を通算して6年以上となる者。
  2. 学士の学位を有する者に関しては、担当する教育に関する教育、研究、業務に従事した期間が2年以上の者。
  3. 準学士の称号を有する者に関しては、担当する教育に関する教育、研究、業務に従事した期間が4年以上の者。
  4. 高等学校において2年以上の教諭経験のある者。
  5. 修士の学位、専門職学位を有する者。



6. その他前5項目に掲げる者と同等以上の能力があると認められる者.

### 専修学校の校舎の面積

1. 1課程, 1分野のみを置く専修学校.
  - a) (イ)から算出した面積
2. 1課程, 2分野以上を置く専修学校, 又は, 2課程以上, 各1分野以上を置く専修学校.
  - a) 生徒数が40人までの面積が最大となるいずれか一つの分野について(イ)から算出
  - b) a)以外の分野について(ロ)から算出
  - c) a)とb)を合計した面積

(イ)

課程の区分	学科の属する分野の区分	学科の属する分野ごとの生徒総定員の区分	面積(平方メートル)
高等課程 又は 専門課程	文化・教養 関係	40人まで	200
		41人以上	$200 + 2.5 \times (\text{生徒総定員} - 40)$
一般課程	文化・教養 関係	40人まで	130
		41人以上	$130 + 2.3 \times (\text{生徒総定員} - 40)$

(口)

課程の区分	学科の属する分野の区分	学科の属する分野ごとの生徒総定員の区分	面積(平方メートル)
高等課程 又は 専門課程	文化・教養 関係	40人まで	140
		41人以上	$140 + 2.5 \times (\text{生徒総定員} - 40)$
一般課程	文化・教養 関係	40人まで	100
		41人以上	$100 + 2.3 \times (\text{生徒総定員} - 40)$

#### 専門学校設置基準

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shougai/senshuu/04062901.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/senshuu/04062901.htm)

#### 学校教育法

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shougai/senshuu/main11\\_a1.htm#hourei](http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/senshuu/main11_a1.htm#hourei)

より作成.

各法は今後変更する可能性があるため、このレポートを参考にする際には十分ご注意ください。また、本レポートは詳細を大きく省いているので、詳細は最新の各法を読む、または関係各省・各自治体に問い合わせてください。この内容によって不利益を被る事があった場合でも、当方は責任を一切負いません。

2006年10月31日 作成

学校設置基準

区分	大学	専修学校
修業年限	4年以上（1）	1年以上（1）
年間授業時間数	1年間に授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則（2）	800時間以上。夜間・その他特別の場合は450時間まで減らす事ができる。（3）
収容定員	教員組織、校地、校舎等の施設、設備その他の教育上の諸条件を総合的に考慮して定める（2）	常時40人以上（1）
入学資格	個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したものの（1）	高等課程は中卒者、専門課程は高卒者、一般課程は専修学校が学則で定める（1）
教員の資格	教授：専攻分野について、特に優れた知識及び経験を有すると認められる者 助教授：専攻分野について、特に優れた知識及び経験を有すると認められる者 講師：特殊な専攻分野について、大学における教育を担当するにふさわしい教育上の能力を有すると認められる者 助手：学士の学位を持っている者（2）	専門課程は大卒2年、高等課程は短大卒2年、一般課程は高卒4年の実務経験等が必要（3）
教員数	専任教員の数、別表1と別表2に定める数を合計した数以上（2）	教員の半数以上が専任教師。また、最低3人は専任教師がいなければならない。その他、別表5を参照（3）
校舎	少なくとも次に掲げる施設が必要。ただし、特別の事情があるときは考慮される。（2） 1. 学長室、会議室、事務室 2. 研究室、教室（講義室、演習室、実験・実習室等） 3. 図書館、医務室、学生自習室、学生控室 面積については別表3、4を参照	面積については別表6、7を参照（3）
単位	4年以上在学で124単位以上取得が卒業要件。 45時間で1単位が標準。（2） ただし、教育効果等を考慮して次の基準で単位認定ができる。 1. 講義・演習：15時間から30時間の範囲で1単位 2. 実験・実習・実技：30時間から45時間までの範囲で1単位 3. 芸術の分野における個人指導による実技の授業：大学が定める時間の授業をもつて1単位 4. 卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目：必要な学修等を考慮して単位数に換算	専門課程では45時間で1単位が標準。（3） ただし、教育効果を考慮して次の基準で単位認定ができる。 1. 講義・演習：15時間から30時間の範囲で1単位 2. 実験・実習・実技：30時間から45時間の範囲で1単位 3. 芸術等の分野における個人指導による実技の授業：学修内容を考慮して適切な範囲内で自由に決められる 4. 卒業研究：必要な学修等を考慮して、単位数に換算

備考

1. 以上。詳細は省いてあるので、詳しくは別途参照。
2. 表内の番号は以下を示す。
  - (1) 学校教育法
  - (2) 大学設置法
  - (3) 専修学校設置法

大学設置基準

[http://www.kyoto-u.ac.jp/uni\\_int/kitei/reiki\\_honbun/w0020949001.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/uni_int/kitei/reiki_honbun/w0020949001.html)

専門学校設置基準

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shougai/senshuu/04062901.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/senshuu/04062901.htm)

学校教育法

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shougai/senshuu/main11\\_a1.htm#hourei](http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/senshuu/main11_a1.htm#hourei)

より作成

各法は今後変更する可能性があるため、このレポートを参考にする際には十分ご注意ください。

また、本レポートは詳細を大きく省いているので、詳細は最新の各法を読む、または関係各省・各自治体に問い合わせてください。

この内容によって不利益を被る事があった場合でも、当方は責任を一切負いません。

2006年11月1日 作成

別表1 学部の種類に応じ定める専任教員数

学部の種類	1学科で組織する場合の専任教員数		2以上の学科で組織する場合の1学科の収容定員並びに専任教員数	
	収容定員	専任教員数	収容定員	専任教員数
美術関係	200-400	10	160-240	6

備考

- この表の教員数は教授、助教授、講師の数を示し、その合計数の半数以上は原則として教授。
- 収容定員がこの表に定める数に満たない場合の専任教員数は、その2割の範囲内において兼任の教員に代えることができる。
- 収容定員がこの表の定める数を超える場合は、その超える収容定員に応じて400人につき教員3人の割合で増加。

別表2 大学全体の収容定員に応じ定める専任教員数

大学全体の収容定員	400人	800人
専任教員数	7	12

備考

- この表の収容定員は、医学又は歯学に関する学部以外の学部の収容定員を合計した数。
- 収容定員がこの表に定める数を超える場合は、収容定員が400人を超え800人未満の場合は収容定員80人につき教員1人、収容定員が800人を超える場合は収容定員400人につき教員3人増加。

別表3 学部の種類に応じ定める基準校舎面積

収容定員	200人までの場合の面積(平方m)	400人までの場合の面積(平方m)	800人までの場合の面積(平方m)	801人以上の場合の面積(平方m)
学部の種類				
美術関係	3,834	$(\text{収容定員}-200) \times 959 \div 200 + 3,834$	$(\text{収容定員}-400) \times 3,140 \div 400 + 4,793$	$(\text{収容定員}-800) \times 3,140 \div 400 + 7,933$

別表4 医学又は歯学に関する学部以外の学部に係る加算校舎面積

収容定員	200人までの場合の面積(平方m)	400人までの場合の面積(平方m)	600人までの場合の面積(平方m)	800人までの場合の面積(平方m)	1000人までの場合の面積(平方m)
学部の種類					
美術関係	2,644	3,305	4,958	6,611	8,099
収容定員	1200人までの場合の面積(平方m)	1400人までの場合の面積(平方m)	1600人以上の場合の面積(平方m)	1800人までの場合の面積(平方m)	2000人以上の場合の面積(平方m)
学部の種類					
美術関係	9,586	11,073	12,560	14,047	15,534

備考

- 収容定員が2,000人を超える場合は、200人を増すごとに、この表に定める2,000人までの面積から1,800人までの面積を減じて算出される数を加算するものとする。

別表5 専修学校の教員数

課程の区分	学科の属する分野の区分	学科の属する分野ごとの生徒総定員の区分	教員数
高等課程 又は 専門課程	文化・教養関係	80人まで	3
		81~200人	$3+(\text{生徒総定員}-80) \div 40$
		201~400人	$6+(\text{生徒総定員}-200) \div 50$
		401人以上	$10+(\text{生徒総定員}-400) \div 60$
一般課程	文化・教養課程	80人まで	3
		81~200人	$3+(\text{生徒総定員}-80) \div 40$
		201人以上	$6+(\text{生徒総定員}-200) \div 60$

別表6 専修学校の校舎面積  
イ 基準校舎面積の表

課程の区分	学科の属する分野の区分	学科の属する分野ごとの生徒総定員の区分	面積(平方メートル)
高等課程又は専門課程	文化・教養関係	40人まで	200
		41人以上	$200+2.5 \times (\text{生徒総定員}-40)$
一般課程	文化・教養関係	40人まで	130
		41人以上	$130+2.3 \times (\text{生徒総定員}-40)$

備考

1. この表の生徒総定員は、学科の属する分野ごとの生徒総定員。

別表7 加算校舎面積の表

課程の区分	学科の属する分野の区分	学科の属する分野ごとの生徒総定員の区分	面積(平方メートル)
高等課程又は専門課程	文化・教養関係	40人まで	140
		41人以上	$140+2.5 \times (\text{生徒総定員}-40)$
一般課程	文化・教養関係	40人まで	100
		41人以上	$100+2.3 \times (\text{生徒総定員}-40)$

## 学校法人格 アニメ学校一覧 2008

### 大学（私立）

[大手前大学](#) [メディア・芸術学部](#) [メディア・芸術学科](#) [マンガ・アニメーションコース](#)  
[京都精華大学](#) [マンガ学部](#) [アニメーション学科](#) [アニメーションコース](#)  
[神戸芸術工科大学](#) [先端芸術学部](#) [メディア表現学科](#) [まんが・アニメーション専攻](#)  
[創造学園大学](#) [創造芸術学部](#) [芸術学科](#) [アニメコース](#)  
[宝塚造形芸術大学](#) [メディア・コンテンツ学部](#) [メディア・コンテンツ学科](#) [アニメーションコース](#)  
[多摩美術大学](#) [美術学部](#) [グラフィックデザイン科](#)  
[東亜大学](#) [デザイン学部](#) [デザイン学科](#) [アニメーション・映像コース](#)  
[東京工芸大学](#) [芸術学部](#) [アニメーション学科](#)  
[東京造形大学](#) [造形学部](#) [デザイン学科](#) [アニメーション専攻領域](#)  
[徳山大学](#) [経済学部](#) [ビジネス戦略学科](#) [知財開発コース](#)  
[別府大学](#) [文学部](#) [芸術文化学科](#) [マンガ・アニメーションコース](#)  
[武蔵野美術大学](#) [造形学部](#) [映像学科](#) [映像表現コース](#)  
[早稲田大学川口芸術学校](#) [映像情報科](#)  
[成安造形大学](#) [造形学部](#) [デザイン科](#) [CG・アニメーションクラス](#)

### 短期大学

[金城大学短期大学部](#) [美術学科](#) [メディア造形コース](#)

### 高等学校

[クラーク国際記念高等学校](#) [秋葉原ITキャンパス](#) [コミッククリエイターコース](#)

### 専門課程

[穴吹デザイン専門学校](#) [マンガ・アニメーション学科](#) [アニメーション専攻](#)  
[ECCコンピュータ専門学校](#) [クリエイターカレッジ](#) [アニメーションコース](#)  
[大阪アニメーションカレッジ専門学校](#) [アニメーション学科](#)  
[大阪芸術大学附属大阪美術専門学校](#) [キャラクター造形学科](#) [アニメーション専攻](#)  
[大阪コミュニケーションアート専門学校](#) [マンガ科](#) [アニメーション専攻](#)  
[大阪情報専門学校](#) [情報マルチメディア科](#) [CGアニメーションコース](#)  
[大阪デザイナー専門学校](#) [アニメーション学科](#) [アニメーション専攻](#)

[大阪デザイナー専門学校 アニメーション学科 アニメキャラクター専攻](#)  
[太田情報商科専門学校 Digital コンピュータグラフィックス学科 Digital アニメーションコース](#)  
[学校法人穴吹学園 専門学校穴吹デザインカレッジ マンガ・アニメ学科](#)  
[学校法人龍馬学園 国際デザイン・ビューティカレッジ マンガ・アニメ科 アニメーションコース](#)  
[学校法人 専門学校九州ビジュアルアーツ アニメーション学科](#)  
[札幌マンガ・アニメ学院 アニメーションデザイン学科](#)  
[神戸電子専門学校 デジタルアニメ学科](#)  
[国際テクニカルデザイン専門学校 デザイン学科 まんがコース](#)  
[国際電子ビジネス専門学校 デジタルデザイン科 アニメーションコース](#)  
[専門学校アートカレッジ神戸 アニメーション学科](#)  
[専門学校国際デザインカレッジ金沢 アニメ・イラストレーション科 アニメーションデザインコース](#)  
[専門学校デジタルアーツ仙台 まんがアニメ学科 アニメコース](#)  
[専門学校デジタルアーツ東京 アニメ・マンガ系 アニメーターコース](#)  
[中国デザイン専門学校 造形専門課程 アニメ・コミックスタジオ\(科\)](#)  
[デザイン専門学校名古屋デザイナー学院 マンガ・アニメーション学科 アニメーションコース](#)  
[デザイン専門学校名古屋デザイナー学院 マンガ・アニメーション学科 アニメキャラクターコース](#)  
[東京アニメーション専門学校 アニメーション学科 アニメーターコース](#)  
[東京アニメーション専門学校 総合アニメーション学科 アニメプロデュースコース](#)  
[東京工学院専門学校 アニメーション科 アニメーターコース](#)  
[東京コミュニケーションアート専門学校 ゲーム・アニメーションワールド アニメーション専攻](#)  
[東京デザイン専門学校 アニメーション科](#)  
[東放学園映画専門学校 デジタルアニメーション科](#)  
[名古屋コミュニケーションアート専門学校 総合デザイン科 アニメーション専攻](#)  
[新潟デザイン専門学校 CGデザイン科](#)  
[日本アニメ・マンガ専門学校 アニメーター科](#)  
[日本アニメ・マンガ専門学校 ビジュアルデザイン研究科](#)  
[日本工学院専門学校 マンガ・アニメーション科 アニメーションコース](#)  
[日本コンピュータ専門学校 デジタルクリエイター科 まんが・アニメーションコース](#)  
[日本総合ビジネス専門学校・大垣 情報メディア学科 まんが・イラストコース](#)  
[日本電子専門学校 アニメ系 アニメーション科](#)  
[日本電子専門学校 アニメ系 アニメーション研究科](#)  
[福岡コミュニケーションアート専門学校 総合デザイン科 アニメーション専攻](#)

[北海道芸術デザイン専門学校](#) [マルチメディアデザイン学科](#) [アニメ・ゲームクリエイター専攻](#)  
[学校法人 石川学園横浜デザイン学院](#) [メディアデザイン科](#) [マンガ・アニメコース](#)

[日本デザイン専門学校](#) [グラフィックデザイン科](#) [コミックアーツ専攻グループ](#) [漫画・アニメーション](#)



## 利用した資料・分類の定義

### 利用した資料

藤井光治、『アニメーションの人材育成に関する研究』、東京大学大学院新領域創成科学研究科 環境学専攻人間人工環境コース 修士論文、2004

テレコム・アニメーションのアニメ塾EX、<http://www.anime-juku.com/>

Animation World Network、<http://www.awn.com/>

Yahoo!ステップアップ、<http://stepup.yahoo.co.jp/>

リクルート進学ネット、<http://shingakunet.com/index.html>

東京造形大学校友会美術系大学リンク、<http://www.zokei.net/links/daigaku.htm>

別冊美学 2006年7月号、『アートスクールガイド 2006』、美術出版社、2006

労働政策研究報告書 2005、『コンテンツ産業の雇用と人材育成 ―アニメーション産業実態調査―』、独立行政法人 労働政策研究・研修機構、2005

「アニメ・クリエイター育成のための産学連携研究会（仮称）」配布資料、『[参考] アニメーション関連学科専攻開設大学・大学院リスト』、2006

アニメウォッチスクール、<http://school.animewatch.jp/>

以上の資料を利用して制作した。

学校を選ぶ基準は、以下の4つの項目に少なくとも一つ該当する学校とする。

学校名、学部名、学科名、専攻名、コース名に、「アニメーション」または「アニメ」という言葉が含まれている、美術・芸術系の学校。（但し、背景美術、彩色、Web アニメーション、パペットアニメーション、クレイアニメーションに限定しているものは除く）

「アニメーター」「デジタルアニメーター」「(2D、3D)CGアニメーター」「アニメクリエイター」「アニメーション制作者」「CGクリエイター」「CG映像クリエイター」「デジタルコンテンツクリエイター」の育成を標榜していると確認できる学校。（但し、アニメーションの演習・実技が含まれていない、または、その演習に十分な時間を確保していないと確認できる学校は除く）

授業内容において、十分な時間をCGまたはアニメーションの実技・演習に当てていることが確認できる学校。

卒業後の進路に「アニメプロダクション」「CG制作プロダクション」が含まれていると確認できる学校。

手描き、CGを判断する基準

「アートスクールガイド 2006」、または、各学校の公式 Web サイトに記載されている情報から判断する。

手描き

卒業後の進路に関する情報に手描きのアニメプロダクションが含まれている。

カリキュラムに、デッサン、手描きアニメーションの「動画」の演習が含まれていることが確認できる。

作品集に、手描きのアニメーションが含まれていることが確認できる。

#### CG

卒業後の進路に関する情報にCGプロダクションが含まれている。

カリキュラムに「CGアニメーション」の演習が含まれていることが確認できる。

作品集に、CGによるアニメーションが含まれていることが確認できる。

目標となる取得資格に「文部科学省認定CG検定」が含まれていると確認できる。

#### 学校の分類の定義

専修学校は、学校教育法第7章の2、第82条の2に掲げられているものを指す。

専修学校は、入学資格の違いにより3つの課程がある。

専門課程（専門学校） 高等学校卒業生、3年生の高等専修学校卒業生

高等課程（高等専修学校） 中学校卒業生

一般課程 特に無し

（文部科学省、平成17年度『専修学校』より）

各種学校は、学校教育法第8章、第83条に掲げられているものを指す。